

(2025 年 6 月更新)

(2025 年 4 月訂正)

2025 年 1 月

一般社団法人日本水中スポーツ連盟

競技委員会

2025 年度 シニア・大学生・マスターズ 国際大会派遣について (2025 年 6 月更新)

2025 年度国際大会派遣標準記録を以下に定める。

男子		日本代表 派遣記録	大学生 派遣記録
サーフィス	50m	16.65	18.00
	100m	37.76	40.45
	200m	1:28.09	1:34.38
	400m	3:16.64	3:28.93
	800m	6:57.47	7:23.56
	1500m	13:37.31	
アブニア	50m	15.21	16.44
ビーフィン	50m	19.88	21.17
	100m	44.07	46.12
	200m	1:40.77	1:45.44
	400m	3:38.35	3:49.62
サーフィスリレー	4 × 100m	2:31.56	
	4 × 200m	5:58.46	

女子		日本代表 派遣記録	大学生 派遣記録
サーフィス	50m	18.80	20.50
	100m	42.28	45.68
	200m	1:35.66	1:43.35
	400m	3:35.15	3:50.52
	800m	7:35.60	8:08.15
	1500m	14:35.26	
アブニア	50m	16.91	18.27
ビーフィン	50m	22.78	23.80
	100m	50.13	52.39
	200m	1:52.58	1:56.63
	400m	3:55.88	4:11.61
サーフィスリレー	4 × 100m	2:51.54	
	4 × 200m	6:28.34	

混合		日本代表 派遣記録	大学生 派遣記録
サーフィスリレー	4 × 50m	1:11.01	
ビーフィンリレー	4 × 100m	3:09.37	

【2025 年度派遣予定の国際大会】

大会名 : アジア選手権 (予定)

大会日程 : 未定

開催場所 : 未定

選考大会 : 第 37 回フィンスイミング日本選手権大会 (2025 年 5 月開催)

大会名 : 第 5 回マスターズ世界選手権

大会日程 : 6 月 13 日～16 日

開催場所 : ギリシャ・キオス

選考大会 : 第 14 回ジャパンオープンマスターズ大会 (2025 年 3 月開催)

大会名 : ワールドカップシリーズ

大会日程 : 9 月 12 日～14 日

開催場所 : 台湾・高雄

選考大会 : 第 37 回フィンスイミング日本選手権大会 (2025 年 5 月開催)

【選考方法】

1. アジア選手権大会選考について（日本代表）

（1）個人種目

1. 派遣標準記録を突破した上位2名とする。
2. 同じ記録の者が複数存在するために、上位2名を決定することができない場合は、スイムオフを実施し、その上位者を選考する。スイムオフの実施方法は競技委員会がその都度決定する。
3. 選考対象大会において予選・決勝のある種目は、決勝の記録を対象とする。
4. リレー種目の第1泳者の記録は選考対象としない。
5. 上位2名から派遣辞退者が出た場合は、3位以下の派遣標準記録突破した者から順に繰り上げる。

（2）リレー種目

1）サーフィス 4×100m・4×200m

1. 個人種目（サーフィス 100m・200m）の上位4名の合計タイムが派遣標準記録を突破した場合に選考する。
2. 同じ記録の者が複数存在するために、上位4名を決定することができない場合は、スイムオフを実施し、その上位者の記録を基礎として選考する。スイムオフの実施方法は競技委員会がその都度決定する。
3. 上位4名から派遣辞退者が出た場合は5位以下から順に繰り上げるが、繰り上げたときに派遣標準記録をクリアできない場合、当該リレー種目への派遣可否は選考委員会にて判断する。
4. サーフィス 4×100m・4×200mリレーについては、1項から3項によって決定した上位4名を出場予定選手として選考する。

2）混合ビーフィン 4×100m

1. CMAS ビーフィン 100mの男女上位各2名の合計タイムが派遣標準記録を突破した場合に選考する。
2. 同じ記録の者が複数存在するために、男女上位各2名を決定することができない場合は、スイムオフを実施し、その上位者の記録を基礎として選考する。スイムオフの実施方法は競技委員会がその都度決定する。
3. 派遣辞退者が出た場合は、各々3位以下から順に繰り上げるが、繰り上げたときに派遣標準記録をクリアできない場合、当該リレー種目への派遣可否は選考委員会にて判断する。
4. 混合ビーフィン 4×100mリレーについては、1項から3項によって決定した男女上位各2名を出場予定選手として選考する。

3）混合サーフィス 4×50m

1. サーフィス 50mの男女上位各2名の合計タイムが派遣標準記録を突破した場合に選考する。
2. 同じ記録の者が複数存在するために、男女上位各2名を決定することができない場合は、スイムオフを実施し、その上位者の記録を基礎として選考する。スイムオフの実施方法は競技委員会がその都度決定する。
3. 派遣辞退者が出た場合は、各々3位以下から順に繰り上げるが、繰り上げたときに派遣標準記録をクリアできない場合、当該リレー種目への派遣可否は選考委員会にて判断する。
4. 混合サーフィス 4×50mリレーについては、1項から3項によって決定した各種目の男女上位各1名を出場予定選手として選考する。

*ワールドゲームズ対象種目（サーフィス 4×100m）を辞退した選手は、基本的に全てのリレー選考対象選手から外すものとする。

*リレー種目の選考結果は、選考大会当日には行わず、1カ月以内に選考結果を公表する。

(3) 追加選考について

1. 日本選手権大会で派遣標準記録突破者がいない個人種目の追加選考を行う場合、選考委員会が決定する。ただし、当該種目に出場していない選手からの追加選考は行わない。

＊派遣標準記録：日本代表派遣標準記録

2. 大学生の国際大会選考について

(派遣予定大会：ワールドカップシリーズ) (大学生日本代表)

(1) 個人種目

1. 派遣標準記録を突破した上位2名とする。
2. 同じ記録の者が複数存在するために、上位2名を決定することができない場合は、選考委員会にて判断する。
3. 選考対象大会において予選・決勝のある種目は、決勝の記録を対象とする。
4. リレー種目の第1泳者の記録は選考対象としない。
5. 追加選考する場合は選考委員会にて判断する。

＊派遣標準記録：大学生派遣標準記録

(2) リレー種目

1. 選考委員会にて判断する。

(3) 備考

1. 2025年度にFISUあるいはCMAS主催の大学選手権等の開催発表があった場合は、その大会への派遣を優先する。

3. マスターズ世界選手権大会選考について (マスターズ日本代表)

(1) 個人種目

1. 大会に参加を希望する選手の年齢区分 (2024年より30歳以上10歳毎に変更)、各種目上位2名を基本とする。

(2) リレー種目

1. 参加者確定後に調整する。

【ワールドカップシリーズ参加について】

1. 台湾・高雄大会

- (1) アジア選手権前の強化を目的とし、以下の基準に基づき希望者の派遣を行う。
 - ・2025年度アジア選手権代表選手または日本代表派遣記録突破選手

＊アジア選手権(予定)を辞退し、ワールドカップシリーズのみの参加は基本的に認めない。

2. 上記大会以外

- (1) 弊連盟による派遣は行わない。
- (2) 個人で大会へ参加することは可能である。
- (3) 参加にあたり、弊連盟の承認が必要となることから以下の基準に基づき、参加を認める。
 - ・2024年度および2025年度日本代表選手 (2024年世界選手権、2025年アジア選手権) または日本代表派遣記録突破選手

【備考】

1. 年齢カテゴリーについて

(1) シニア

- ・ 18 歳以上

(2) ジュニア

- ・ B 16-17 歳
- ・ C 14-15 歳
- ・ D 12-13 歳
- ・ E 11 歳以下

(3) 大学生

- ・ 4 年制・6 年制大学の大学生・大学院生

＊日本独自のカテゴリー

国際大学スポーツ連盟 (International University Sport Federation、FISU) が
関連する大会においては、関連の FISU ルールが適用される。

＊大学 : 文科省に認可されている大学

(医学部等 6 年制の学部の 5・6 年生を含む。

短期大学や、高等専門学校 4・5 年生は含まない。)

FISU で規定されている大学生

＊大学院 : 文科省に認可されている大学院の修士課程・博士前期課程

(4) マスターズ

- ・ 30 歳以上で 10 歳毎に年齢分け (M30+ : 30-39、M40+ : 40-49、・・・)

(5) 年齢は、開催大会年の 12 月 31 日現在を基準とする。

2. 参加可能な大会

- ・ 12 歳以上 ワールドカップ
- ・ 14 歳以上 ジュニア世界選手権、ジュニアアジア選手権または競技会
- ・ 15 歳以上 ワールドカップ (シニアカテゴリー)、世界選手権、アジア選手権
- ・ 30 歳以上 マスターズ世界選手権等

3. 注意点

- (1) ジュニアカテゴリーの選手はシニアカテゴリーの大会へ参加可能。
- (2) シニアカテゴリーで 30 歳以上の選手は、同一年にアジア選手権または世界選手権とマスターズ世界選手権の両方に参加することが可能。
- (3) 上記のいずれにおいても、同じ会場で連続して開催される大会の場合、個人種目へのエントリーは 1 大会のみとなる。(リレー種目は、両方の大会に出場することができる)
(例) 同じ会場で世界選手権 (シニア) とマスターズ世界選手権が続けて開催される場合、個人種目への出場はどちらかのみとなる。

以上